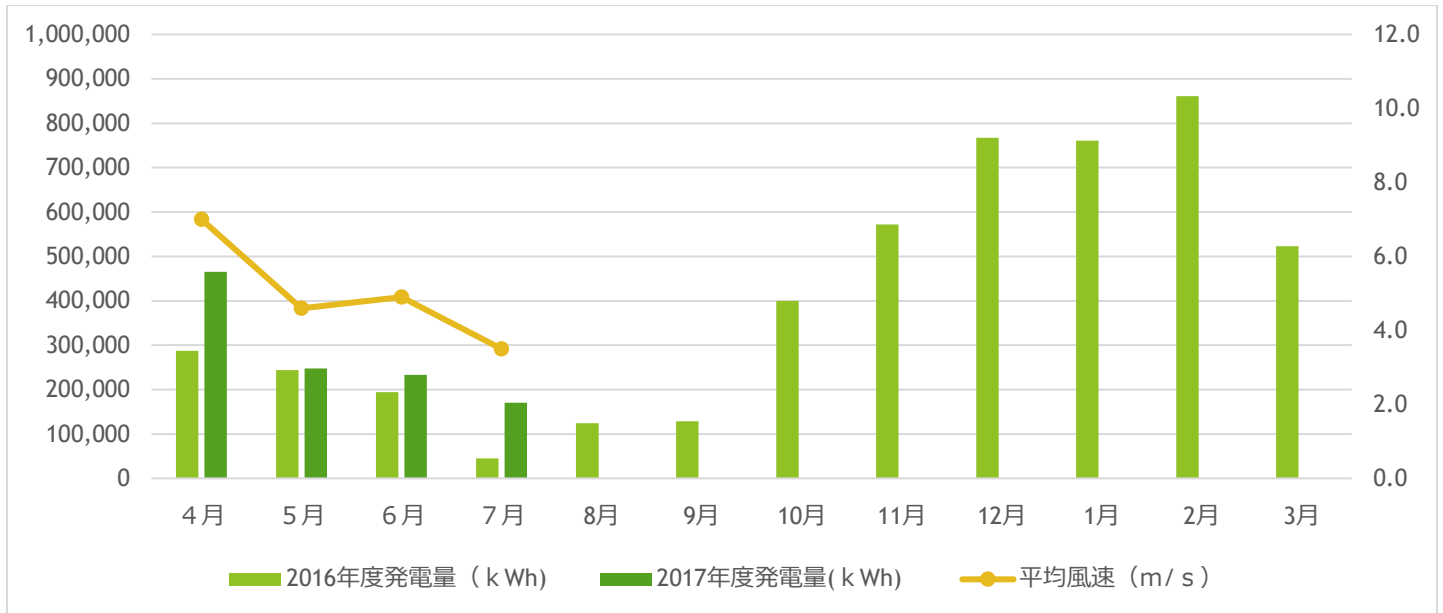


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 西村明子

● 発電実績



○ 風況は昨年同月に比べ0.2m/s低い実績でした。

○ 7月24日～27日までブレードを補修しました。夏場は風が弱い日が多いので、修繕や大きな検査などは主に夏に行っています。

○ 7月27日にかわさき生活クラブ理事研修、28日に湘南生活クラブ理事研修で、風車夢風を見学しました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	465,321	7.0	92.6
5月	247,330	4.6	84.5
6月	233,257	4.9	82.9
7月	170,227	3.5	84.9
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

生活クラブ風車「夢風」5周年記念イベントを行いました。

7月29日（土）7月30日（日）の二日間にわたって、生活クラブ風車「夢風」5周年記念イベントを行いました。



7月29日（土）には、にかほ市と生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉、グリーンファンド秋田との連携推進協議会の主催で生活クラブ風車「夢風」建設5周年を祝う会を秋田県にかほ市の生活クラブ風車サイトで行いました。

にかほ市長をはじめ、ご来賓や、夢風ブランド開発生産者連絡会、芹田自治会の方々、生活クラブ組合員など、総勢約170名の方が参加しました。

オープニングはにかほ市平沢小学校の太鼓クラブの演奏で元気に開会しました。

初めに、主催者挨拶として生活クラブ東京の土谷理事長よりご挨拶をいただきました。続いて、ご来賓のご祝辞として横山にかほ市長、荒川芹田自治会会長、新田(株)平田牧場代表取締役よりご挨拶をいただきました。



生活クラブ東京
土谷雅美理事長

一周年の時には想像できなかった「夢風ブランド」がたくさんできて本当にうれしく思います。

これからも、ともに連携して新しい未来を作っていきます。



にかほ市市長
横山忠長様



芹田自治会会長
荒川定敏 様

一周年イベントの交流で「夢風」の取り組みが持つ意味を強く実感しました。芹田地区の加工用トマトの栽培も3年目となり、この交流をさらに広げていけたらと思います。

にかほ市、遊佐町はともにジオパークに認定されました。遊佐の太陽光パネルも完成が楽しみです。



(株)平田牧場代表取締役
(生活クラブ親生会会長)
新田嘉七様

続いて、会津電力㈱代表取締役の佐藤彌右衛門様、にかほ市教育長の齊藤光正様、にかほ市議会副議長の佐々木正明様、生活クラブ東京の土谷雅美理事長、生活クラブ神奈川の藤田ほのみ理事長、生活クラブ埼玉の澁谷起代子理事、生活クラブ千葉の木村庸子理事長、グリーンファンド秋田の半澤彰浩代表理事により、5周年祝って鏡割りを行いました。



飛良泉本舗ご提供の夢風酒で鏡割りをしました。

会場では夢風ブランド開發生産者連絡会の各生産者の試食や試飲、芹田自治会のおにぎりどジョウ、にかほ市役所による天然岩牡蠣と由利牛の炭火焼き、生活クラブのポークウィンナーと豆乳などの試食が提供され、にかほ市の食べ物に舌鼓を打ちながら、和やかに交流しました。



市役所職員メンバーによる市役所バンドの演奏を始め、にかほ市出身で秋田県を拠点として活動するデュオ、ケースケ&マサのミニライブや、NPO 法人北海道グリーンファンド理事長 鈴木亨氏による「あこがれの市民風車」の歌、そして最後に生活クラブの組合員が、「青いサンゴ礁」の替え歌で、「白い WINDMILL」を合唱しました。



7月29日には映画「おだやかな革命」の初上映や、フォーラムを行いました。その様子は次号の夢風ニュースでお伝えします。

教えて、小林さん！風車基礎知識

NPO 法人北海道グリーンファンドの小林ユミさんに風力発電の基礎知識を隔月で執筆していただいています。

この夏、みなさんはどちらにお出掛けになりましたか？旅先で風車を見かけた方、「夢風」を見に行ったという方もいらっしゃるかもしれませんね。

「夢風」と同じ市民・地域主体の市民風車は、北海道浜頓別町の990kWの（「はまかぜ」ちゃん 右写真）1基から始まり、現在は全国19カ所、設置基数21基、総出力3.6万kWと2001年から毎年少しずつ仲間を増やしています。都道府県別内訳では、秋田県10基、北海道6基、青森県2基、千葉県、茨城県、石川県に各1基です。



日本全体でみると、風力発電導入量（総設備容量）は約336万kW、設置基数は2203基です。都道府県別では、第1位青森県（約38万kW）、第2位秋田県（約35.5万kW）、第3位北海道（約35.2万kW）で、日本全体の導入量の32%を占めています。第4位以下は鹿児島、三重、島根、福島、静岡、石川、山口、長崎、茨城の各県が10万kW以上の導入量がある地域で、この12道県で日本の導入量の約74%を占めています。

風力発電の設置には、「風の道・電気の道・車の道」が必要だといわれています。発電に適した風、発電した電気を流す送電線、大きな風車を運ぶための道路です。吹く風は変えることはできませんが、送電線の増強や地域間連系線を賢く運用することで、電気の道はもっと開かれ、さらに多くの地域での取り組みが期待できます。

この夏、猛暑や大雨、洪水など、異常気象や気象災害が日本や世界で数多く発生しました。気候変動への危機感の共有はパリ協定に結実し、世界は二酸化炭素排出量ゼロ、自然エネルギー100%の社会へと大きく歩を進めています。さあ風の道を探して一緒に前進しましょう

「夢風」にも地球の未来にも良い風が吹きますように。